会 議 議 事 録

会 議 名	第1回 教育課程編成委員会(東京工科グループ校共同開催)		専門学校 東京工科自動車大学校 専門学校 東京工科自動車大学校世田谷校 東京工科専門学校品川校
開催日時	平成 25年 10月 23日（水） 15 時 ～ 17 時		
会 場	平成 25年 10月 23日（水） 15 時 ～ 17 時		
参 加 者	委員等	12人	（参加者名） 深澤 秀治，安蒜 重吉，田村 智，大石 安孝，沼田 勇， 齋藤 昭男，佐藤 裕(甲斐俊和代理)、佐藤 康夫，渋谷 健， 竹尾 和也，太田 亨，小林 完 （オブザーバー：佐々木 章、三上 孝明）
	事務局	3人	（欠席者） 佐々木 洋文、 谷川 潮、 山口 泰之
会 議 碌	1．開会挨拶（佐々木本部長、三上校長、佐藤校長） 進行：小林校長 2．委員自己紹介 各自自己紹介を簡単に行った。 3．教育課程編成委員会の説明（資料A3 1枚） 東京工科グループ三校(東京工科自動車大学校、東京工科自動車大学校世田谷校、東京工科専門学校品川校)は自動車整備の二級課程と一級課程を持つ整備専門学校で、従来も人材ニーズに合わせた教育編成について企業様の意見をお聞きし、それをカリキュラムに反映する「専門部会」を三校合同で実施してまいりました。同様な主旨で、今回からあらためて「教育課程編成委員会」として再編させていただきました。各校ごとの二級、一級課程のご担当をお願いしておりますが、国土交通省認定の基本カリキュラムをベースとしており、課題の共有や反映を目的に「専門部会」同様に三校合同の開催とさせて頂いております。 今回第一回目と言う事で、『職業実践専門課程』の文部科学大臣認定についての概要を資料に基づき説明。（佐藤校長） 4．委員会会則の説明（資料A41枚） 資料に基づき、（目的）（所管事項）（委員）（委員長等）（会議）について、委員会則を読み上げ参加者全員の承認を頂いた。（竹尾校長） 5．東京工科自動車系グループのカリキュラム説明（資料A4 3枚パワーポイント） パワーポイントレジュメの説明 ●建学の精神 ●学園理念 ●学園の教育方針（4つのポイント）●教育の特徴（6つのポイント）と履修表（東京工科自動車系8科）を見て頂き、科目分類と時間数を確認した。●教育に対する要望として、過去に行われた専門部会での意見を例に示し、改善できる点は、授業、就職プログラム等で改善している例を示した。（佐藤校長） 今回は、学校の背景、学校の取り組み、そして現在行っている授業カリキュラムについて説明させて頂きました。次回の会議で学校への要望・意見等を伺いながら、討議し学校を良くする取り組みの活動として行きたいと考えています。最低年2回委員会会議を持ちます。我々がやってきた活動の報告をさせて頂き、今後どういう形で企業側のニーズをカリキュラムに反映させていくか，テクニカルスキル、ヒューマンスキルに関する問題点をメール等で情報を流して頂ければと思います。社内研修に至るまでに希望する人材として必要なもので是非学校でやって頂きたいと言うような内容の意見を頂戴したいと考えています。（佐々木本部長） 6．参加メンバー意見交換 （深澤）品川校で講義科目「自動車と環境」の授業を実際に行っているので、企業とは違う立場で参加しています。カリキュラムの特徴としてシラバス、コマシラバス、授業シートの重要性、素晴らしさを知っています。更に追加で意見としてお話させて頂きました。 （安蒜）全体（2年間）で何をやっているかを知る良い機会となりました。会議の趣旨も理解致しました。社に戻って検討したいと思います。履修表を拝見して、国土交通省の科目区分で、いじれる部分、つまり、何処が変更可能な部分なのかを示して頂きたい。その上で、意見を出して行きたいと思います。 国土交通省の指定時間以外としては、一般教養、研修、その他の項目がそれにあたります。国土交通省の指定時間が90%程を占めていますが、中身も大枠が決められているだけですので、見直しをする事は可能です。（小林校長） （沼田）内容・趣旨を理解致しました。今までは、専門学校での授業内容を細かくは知りませんでした。カリキュラム（履修表）資料を見させて頂いて、会後社に持ち帰りまして、意見を出して行きたいと思います		

議 事 録	（大石）昔、自分も教育を受けたものの遠い記憶となっています。今回の会議に出さして頂いて、趣旨を理解しました。社に持ち帰って検討したいと思います。 （斎藤）国土交通省の中身が古いと感じています。今の時代に合っていない。文部科学省が、職業実践と言うのであれば、電気自動車等々の話がもっとあるべきです。学校で教える今の世の中で必要とされる人材像はこう言うものだと言うものをこの様な会そして、文部科学省を通じて示せれば良いかと思います。 （ 佐藤 ）今回参加させて頂いて、企業側にとってもメリットがあると感じました。一方的に企業側の要望を言うだけでなく、学校側からの要望を聞く事が出来き、お互いにとっての情報交換を出来る場として良いと感じています。 （田村）趣旨が理解できました。以前に専門部会と言う形で実施されていた事を聞いて、率直にこんな事を言いたかったという意見がありました。持ち帰って現場の声を聞いてその中から検討事項を出して行きたいと思います。 自己点検評価を当校は行っています。自前の点検となりますので、外部の方に評価して頂くため「学校関係者評価委員会」を組織し、ご意見ご指摘を受けることになっており、またその内容を情報を公開してゆく予定です。 今回は、教育課程の編成つまり教育内容・教育手法・環境等についての改善に向けてご意見を頂戴したく存じます。（佐々木本部長） 7. 結論 ・会議の主旨、当校の現在の教育編成の内容については資料を基に説明し、概ね各委員の理解を得た。 ・各委員は、企業内の意見も含め次回の会議に意見を持ち寄る。 ・第2回会議は平成26年1月末から2月上旬を予定。日程は未定、後日開催を通知。 以上